

令和5年2月28日
兵庫県企画部万博推進室

SDGs体験型地域プログラムの第一次認定について

第一次認定の対象となるプログラム

- 強化募集期間終了後も年内までに応募のあった**120件のプログラム**を対象

申請件数
120件

※R4.12末時点

地域別件数

地域	件数
摂津	32
播磨	50
但馬	12
丹波	17
淡路	9

分野別件数

分野	件数
震災復興	4
自然・環境	30
農林水産	13
食	12
経済・地場産業	32
文化・芸術	29

第一次対象
118件

- 1件の申請だが、明確に内容が区分されているものを2つのプログラムとして整理
- 所属組合の申請内容に含まれるため、同一のプログラムとして整理
- 申請の取り下げ：2件

認定に当たっての考え方

- ① プレイヤー自身が発信することも重要視しているため、**意欲があるものを幅広く認定。**
 - 意欲が有る限り、県が伴走型で支援を行うことが基本姿勢。
 - 認定基準に未達の項目は、原則、磨き上げで対応。足りていない基準として、認定通知で明記。
- ② 支援の内容が定まらないもののみ、**認定を見送る。**
- ③ プログラムの継続や県と協力した取組が困難になった場合には、**認定を取消す可能性あり。**

1. 認定プログラムの構成

(1) 基準を満たしたものを、**全て認定する。**

- ① ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか
 - ア) 各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など
 - イ) 地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探求
 - ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性
- ② プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携
- ③ 社会通念上、懸念があるか。

(2) 基準を満たしたものを、**プレミアとして選定**

『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』から地域の核となるもの

(3) 未達の項目があるプログラム

『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるもの

2. 認定外・対話を継続して再チャレンジ可能

第一次認定について

認定プログラム：113件

地域別件数

地域	件数
摂津	28
播磨	49
但馬	13
丹波	15
淡路	8

分野別件数

分野	件数
震災復興	4
自然・環境	30
農林水産	13
食	12
経済・地場産業	30
文化・芸術	24

認定を見送る：5件

- 主な場所が県外
- 企画が十分に練られていないプログラム
- 近隣プログラムのオプションが展開に適しているプログラム
- 娯楽プログラム 等

(1)認定プログラム(抜粋)



14. Asagoで暮らす旅～Travel like you live here～（朝来市）

【発信できるテーマ性】

近代産業を支えた旧生野銀山や神子畑選鉱場跡など鉱石のまちをE-bikeで巡り、鉱山のまちならではの生活や現在の取組を知り、持続可能なまちづくりへのヒントを学ぶことができる。

概要：日本遺産「銀の馬車道」「鉱石の道」の起点である生野にある鉱山職員の社宅であった空き家（古民家）を再利用した宿泊施設「IKUNO Stay」に滞在し、二次交通として炭素を排出しないE-Bikeを利用して地域の人々を訪ね、収穫体験、お茶会、田舎料理体験など「本物」の田舎暮らしを味わう。

実施主体：朝来市観光協会



▲ガイドが先導して案内



▲サイクルガイド



▲朝来市生野地区の町並み

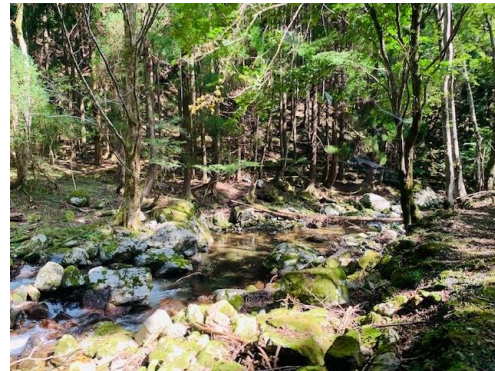
104.セラピーバイク（宍粟市）

【発信できるテーマ性】

赤西溪谷を、ガイド案内による特別なコースをE-bikeで巡り、かつて森林産業がもたらした歴史と豊かさ、現在の森林がもつ役割と保全の重要性について学ぶことができる。

概要：炭素を排出しないE-bikeで、赤西溪谷の森林鉄道跡地の特別なコースをガイド案内で巡り、宍粟の森林などを満喫する森林セラピーを体験。

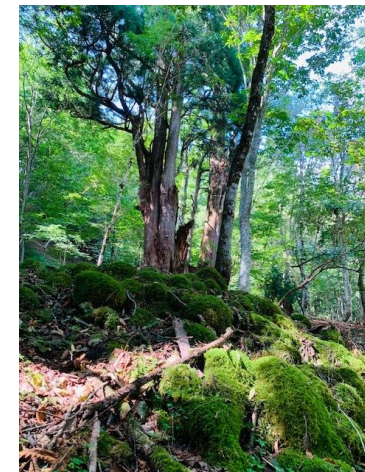
実施主体：公益財団法人しろう森林王国観光協会



▲赤西溪谷



▲E-bike



▲ゴール地点の先代杉



▲森林鉄道跡



40. 沼島おのころクルーズ（南あわじ市）

【発信できるテーマ性】

国生みの島の伝説がある沼島周辺の奇岩、断崖、海域について知り、海の恵みを大切にしながら繁栄してきた島の文化や暮らしを学ぶことができる。

概要：国生み神話ゆかりのオノコロ島・沼島の周囲を、漁船により、天の御柱といわれる上立神岩の奇巖奇石や岩礁、越冬のために飛来するウミウ等を、古代より伝わる神話の話を盛り込みながらガイドとともに巡り、豊かな海が育んできた地域の暮らしや漁業の営みを知る。

実施主体：沼島おのころクルーズ



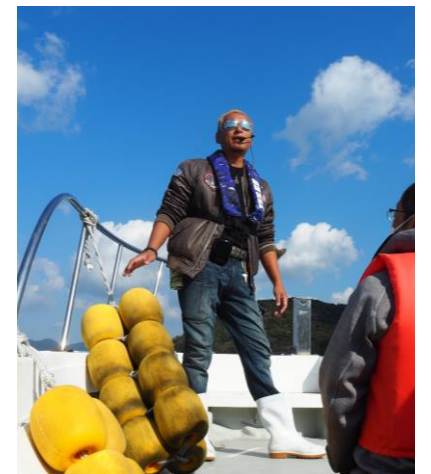
▲漁船で巡る



▲平バエ



▲上立神岩



▲ガイド

88.自然エネルギーを活用した「湯がき体験」（新温泉町）

【発信できるテーマ性】

高温な温泉を地域全体で活用する取組と、温泉を活用した新たなチャレンジを知ることができ、カーボンニュートラルに向けた取組を学ぶことができる。

概要：「湯がき」をはじめ、高温の温泉を、温泉旅館だけでなく、地域住民の日常生活まで町全体として活用し、化石燃料に頼らずに文化的な生活が営んでいる取組と、電気など新たな可能性に向けてチャレンジしている取組をガイドが話をします。

実施主体：湯村温泉観光協会



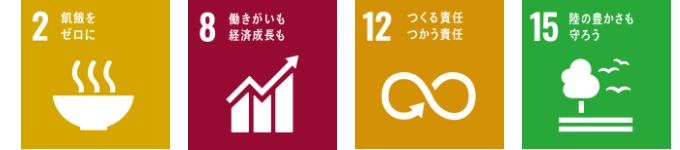
湯がき：
毎分470リットルも湧出する98度の高温泉を活用し、住民が卵や野菜や豆を湯がくとともに、暖房や散髪など日常生活で活用している。



▲荒湯



▲春来川



69. 「和牛のふるさと」ルーツを訪ねて（香美町）

【発信できるテーマ性】

黒毛和牛の9割が小代のおじろの但馬牛にルーツがあり、人とともに暮らしてきた地域で「和牛のふるさと」の生態系の保全やと自然が調和したライフスタイルについて学ぶことができる。

概要：山間地域の農耕作業において、大切にされてきた但馬牛と一緒に歩んできた暮らしぶりを、住民自らが案内し、訪問者に伝え、体験することにより、他地域にはない特徴をもった地域の魅力を発見し、その地域で暮らすことの誇りへとつなげていく。

実施主体：香美町小代^{おじろ}観光協会



▲牛の神様を祀る大日堂



▲但馬牛



▲うへ山の棚田



33.坊勢島 漁業見学&体験ツアー（姫路市）

【発信できるテーマ性】

離島の水産業や近年の環境変化が海や海洋生物に与えた影響、持続可能な水産業の維持に向けた取組を学ぶことができる。

概要：坊勢漁業協同組合の漁業見学船「第八ふじなみ」を活用し、海上で漁業見学を行うとともに、漁師から魚の変遷や海洋保全活動について話を聞く。併せて、家島諸島のクルージングや、資源管理型の漁業として中間育成施設など島の漁業施設見学なども実施している。

実施主体：坊勢漁業協同組合



▲第八ふじなみ



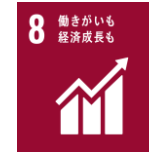
▲定置網漁法



▲漁師の説明



▲養殖施設



16.食用コオロギを用いたタンパク質循環システムの構築（神河町）

【発信できるテーマ性】

世界的な人口増加によるタンパク質不足、気候変動への解決に向けて地域を巻き込んだコオロギ活用の可能性を学ぶことができる。

概要：タンパク質が豊富に含まれる食用コオロギを養殖し、その養殖設備の見学を通じた次世代型の食品デザインを学習するとともに、食用コオロギを用いたクッキーづくりなどのワークショップを行う。併せて、小学校跡地を活用した工場を設置し、地元農家からの粃殻や野菜残渣をコオロギの餌とし、逆にコオロギの糞を農業用の肥料として活用するなど循環型によるタンパク質供給システムの構築を目指す。

実施主体：株式会社BugMo



▲コオロギを使ったハンバーガー



▲再利用するコオロギのふん



▲養殖工場



10.兵庫・神戸の真珠産業・文化の魅力体験（神戸市内ほか）

【発信できるテーマ性】

世界での流通シェア7割をしめる地場産業の真珠加工にかかる技術を体験するとともに、海洋保全や残さの再利用などサステイブルな取組について学ぶことができる。

概要：地場産業として真珠の選別・加工業者の集積地である兵庫・神戸で、真珠の歴史や、貝による過剰作用や真珠を取った後のアコヤガイの活用方法等の漁的循環システムなど、持続可能な真珠業界の取組セミナーとアクセサリーづくりなどを体験する。展示即売会も併せて開催。

実施主体：パールコネクション



▲パールツリー



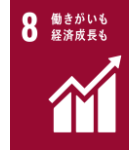
▲パールで作られた宮殿



▲体験で作成するピンバッチ



▲様々なパール作品を展示



53. 新発見！デザイナーtamaki niimeによる播州織のものづくり体験（西脇市）

【発信できるテーマ性】

綿の栽培から製品化まで一貫して行っており、先染め織物の国内シェア7割を占め、200年以上受け継がれる播州織の一連の製造過程と特徴を知ることができ、サステイナブルな播州織の取組を学ぶことができる。

概要：耕作放棄地などを活用した綿花栽培にはじまり、一点モノを大量生産するコンセプトに基づいた創意工夫や付加価値の向上を図るための生地づくりから製品になるまでの全工程が見られる工場見学のほか、縫製加工（ショールの縫製・カット・タグ付け）の「体験型」ワークショップ等を実施。

実施主体：有限会社玉木新雌



▲工場外観



▲先染めされた糸



▲オープンな工場

38. 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる（丹波篠山市）

【発信できるテーマ性】

各窯元の人柄に触れながら、日本遺産にも登録されている古代六古窯の一つ丹波焼きの歴史・伝統と新しいチャレンジを学ぶことができる。

概要：土から産まれて、土に還る丹波焼のふるさとで、窯元が集まる路地を歩き、各窯元でものづくりに携わる人のこだわりと作品への思い等を会話するとともに、「最古の登窯」の見学や、丹波焼と地元で育まれた食を体験する。

実施主体：丹波立杭陶磁器協同組合



古代六古窯：
古来の陶磁器窯のうち、中世から現在まで生産が続く代表的な6つの産地の総称であり、丹波立杭焼のほか、瀬戸焼、常滑焼、越前焼、信楽焼、備前焼がある。



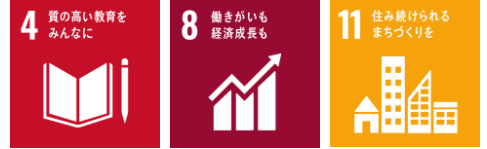
▲丹波焼きの土



▲型枠



▲乾燥中



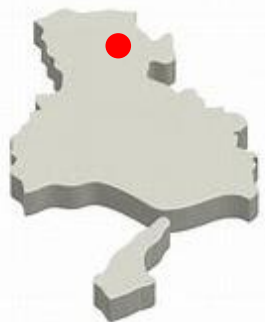
49. 豊岡演劇祭2025（豊岡市ほか）

【発信できるテーマ性】

アートインレジデンスによる演劇舞台への取組や、多様な演劇を通じたまちづくりを学ぶことができる。

概要：「豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり」をコンセプトに、演劇作品を展開するだけでなく、古民家や公園での講演など持続可能なまちづくりの機会として活用。アートインレジデンスの取組では、舞台稽古や演劇を無料公開するなど、地域に演劇が溶け込む仕組みづくりを行っている。

実施主体：豊岡演劇祭実行委員会



【参考】豊岡演劇祭2022

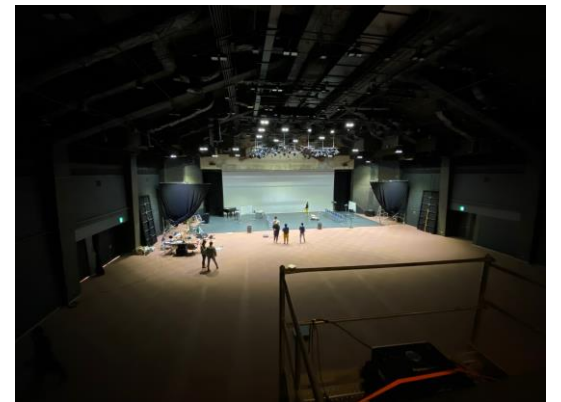
期間：2022年9月15日(木)～25日(日) ※11日間

参加団体／プログラム数

公式プログラム17団体／18プログラム※うち1プログラムが台風により中止

フリンジプログラム60団体／61プログラム

連携プログラム18プログラム計97プログラム※うち1プログラムが台風により中止



▲舞台稽古風景

創造的復興



32. 「あなたの命を守るBOUSAI 体験・学習プログラム」 － 阪神・淡路大震災を学び、自然災害への対応力を養う－（仮称）（神戸市）

【発信できるテーマ性】

阪神・淡路大震災を語り継ぎ、そこからの創造的復興の取組を知り、新たな災害への対応力を学ぶことができる

概要：センタースタッフが、グループ単位で館内の展示を解説しながら案内するスペシャルガイドツアーを実施。現地でのガイドも行う阪神・淡路大震災の被災地を知る語り部が、震災の恐怖と創造的復興への取組みを語るほか、バーチャルな震災体験なども実施。

実施主体：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター



▲西館外観



▲語り部



▲言語ボランティアのガイド



▲ディザスターウォール

創造的復興



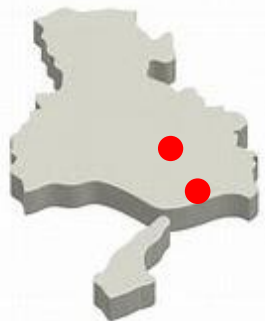
98. 防災ツーリズム推進事業（神戸市、三木市ほか）

【発信できるテーマ性】

広域防災拠点の取組や、災害時における対応力の向上、日常からの備え等について、観光も交えながら楽しく総合的に学ぶことができる。

概要：人と防災未来センターや広域防災センター、Eーディフェンスなど国内随一の防災学習・研究拠点到震災遺構等を加えた防災関連資源と、周辺の観光資源を組み合わせた体験型ツアーを実施することで、「防災意識の向上」と「地域の活性化」の両立を図り、阪神・淡路大震災からの「創造的復興」「防災先進県ひょうご」としての取組を全国及び海外に発信する。

実施主体：兵庫県危機管理部



▲人と防災未来センター



▲広域防災センター



▲観光資源の例（播州織）

今後の流れ：プログラムの磨き上げ

- 認定したプログラムは、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムになるよう、プログラム提供者やサポート人材への研修、商品化支援などの磨き上げを行い、受け入れ体制の向上に取り組んでいく。

認定プログラム（第一次認定：113件（R5.2.28））

※万博開催まで募集・認定を継続

伴走型の支援を行い、国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラムに仕上げる

伴走型支援でプログラムの磨き上げ

(1) サポート人材の発掘

認定プログラムをサポートする人材を発掘するための説明会等を開催

(2) 人材育成研修

① プログラム提供者研修

説明力向上研修、来訪者受入研修（多言語対応・キャッシュレス対応）など「おもてなし力」の向上を図る研修を開催

② サポート人材研修

各プログラムに対応したランドオペレーター等観光関係者や通訳案内士等（サポート人材）を育成する研修を開催

(3) 商品化支援

① プロモーションプロデューサーの設置

効果的なプロモーションに向け、専門家を招聘。ターゲティング設定、ターゲット別のブランディングを実施

② インバウンド対応に向けたアドバイザーの派遣

インバウンド目線による磨き上げを行うため、外国人アドバイザーを派遣

③ モニターツアーの実施

各プログラムの課題を把握し、誘客に向けた必要な取組を洗い出し、改善するためのモニターツアーを実施